

質問回答

平成 26 年 3 月 25 日

「エジプト国小規模農家の市場志向型農業改善プロジェクト」

(公示日 : 平成 26 年 2 月 26 日 / 公示番号 : 1) について、以下のとおり質問いたします。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P24 - 8 . (4) SHEP 研修	本年 8 月 18 ~ 20 日の本邦での SHEP 研修についてです。JICA 能力研修は通常、多数の申込者から経歴などを判断して参加者の選考がなされており、特に今回は最近注目されている SHEP についての研修ですので申込者はかなり多いものと考えますが、本件の受注社の業務主任は本研修への参加は別枠にて確保、あるいは選考にあたり特別な配慮がなされるという理解でよろしいでしょうか。そうでないと、この期間に本件の現地(海外)での業務を入れない、とったような、本研修への参加を前提とした工程と人員配置計画が立てられません。	確約はできませんが、定員の範囲内で、当該研修参加者選考に当たり配慮をする予定です。
2	P12 - 6 . 第 1 期(21), P15 - 6 . 第 2 期(12) 在外研修 / 技術交換について	本プロジェクトにおいて在外研修 / 技術交換を実施することが指示されており、候補国としてケニア国の SHEP-UP が想定されています。 SHEP に関する研修については、各国の参加者を集めた合同研修が実施され、参加者の報告を別案件にて拝察したこともございますが、このような合同研修は定期的 to 実施される予定でしょうか？その場合、この合同研修に本プロジェクトの	今後実施される課題別研修のうち、SHEP 広域化のアフリカ対象国に向けた行政官向け SHEP 研修(於本邦及びケニア:2014 年度以降年 1 回・英語・2014 年度は 11 月に開催予定)、技術者向け SHEP 研修(於本邦:2015 年度以降年 1 回・英語)に本プロジェクト関係者の参加(最大 2 名の参加枠をエジプトに割り当て予定)を考えています。

		<p>C/P を参加させることは可能でしょうか？この場合、エジプト農業土地開拓省職員の現状を考えますと通訳が必要となりますが。</p> <p>それとも、本指示書では、独自の在外研修を計画することと、ということが指示書の主旨でしょうか？</p>	<p>また、語学力や C/P 技術力等を想定し、本課題別研修に加えて個別対応が必要と判断される場合には、独自の計画を提案願います。</p>
3	指示書第 7 項, P7 - 5. (11) 見積の構成	<p>業務指示書の「第 7 見積価格および内訳書」で、「契約全体が複数の契約期間に分かれるため、各期間分及び全体分の見積りをそれぞれに作成してください」の文にマル印が付与されていませんが、一方、「第 2 業務の目的・内容に関する事項」の 7 ページの「(11)事業のフェーズ分け」には、契約期間が 3 つに分けられ、それぞれの契約期間の終了時点で次期契約期間の契約交渉を行うと記載されています。ひとつの契約期間が複数年度に分かれることに対して年度で分ける必要は無い、というのは理解できますが、契約期間が3つに分けられていることと、冒頭に記したマル印が付与されていないことの矛盾につきご説明くださるとともに、改めて見積書の構成につきご指示ください。</p>	<p>契約全体が複数の契約期間に分かれるため、各期間及び全体分の見積もりをそれぞれに作成してください。</p>
4	P17 - 7. (1) 調達機材	<p>調達機材について、初年度でコンピュータ 8 台、プリンター 8 台、およびコピー機 2 台については、見積もりに含めるとの理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>見積もりに含めて下さい。</p>
5	P17 - 7. (1) 機材の消耗品費	<p>上記、コピー機やプリンターは、トナー等の消耗品が必要となりますが、初年度に見積もる場合、これは適量を見積もってもよろしいでしょうか。</p>	<p>見積もりに含めて下さい。</p>

6	P17,18 - 8.(1) アラビア語訳の報告書	<p>ワーク・プラン等、各種報告書のアラビア語版作成が指示されていますが、このアラビア語訳のレベルについてお伺いします。</p> <p>エジプトでは、政府に登録された翻訳事務所が翻訳を行った場合、その翻訳事務所のスタンプが押印され、公的な翻訳版となります。これに対し、このような登録をしていない個人の翻訳者が翻訳した場合は、エジプト国内では公式訳とはなりません。官庁がアラビア語翻訳文書(契約書などの法律に関わる文書等ですが)を受理する際、このような政府登録された翻訳事務所の押印を必要とする場合があるようです。</p> <p>指示書に仮訳という表記(指示書8頁12行目)もございますが、これは翻訳事務所による翻訳を必ずしも必要としないと理解してよいのでしょうか。迅速な翻訳を行うためには、個人による翻訳が、利便性が高いという面もあります。</p> <p>見積もりにも差が出ますため、成果品として提出するアラビア語版について、そのレベルについてご確認いただきたいと思います。</p>	<p>翻訳事務所による翻訳を必ずしも必要としない、という理解で結構です。</p> <p>なお、「仮訳」というのは、JICA の確認を得た正式な翻訳ではないという意味であって^(*)、カウンターパート機関への報告・協議や技術移転に使用する重要な書類の翻訳となりますので、協議や情報共有、技術移転が円滑に進むよう、内容や文法等に関する精度の確保、対象者(政府向け、農民向け等)に適したアラビア語表現の使用などに十分留意するようお願いいたします。</p> <p>*例えば PDM をアラビア語訳される場合、R/D に添付された英語の PDM が「正」であり、アラビア語訳は「参考」という位置づけとなります。</p>
---	------------------------------	---	--

以上